



やまゆり



2005年(平成17年)2月発行

日本ボーイスカウト神奈川連盟

111



平成16年度神奈川連盟

ベンチャースカウトフォーラム報告

平成16年10月23日～24日 三浦ふれあいの村

スカウト達の声に耳を傾け、その意見をスカウト運動に反映させていくことを目的としたスカウト・フォーラム(Scout Forum)。

今年度は、9地区31名のスカウトと、グループのファシリテーター役としてのローバースカウト9名にて「平和」について熱心な議論が展開されました。

僕たち私たちの意見を聞いてほしい

Go! Scouting

‘04 スカウトフォーラム

平成 16 年 10 月 23 日～24 日
神奈川県立 三浦ふれあいの村

今年度のベンチャーフォーラムは、『平和』をテーマに討議されました。県下から集まった 31 名のベンチャースカウトは緊張した感もあったが、さすがスカウト！グループワークが始まった頃にはユーモアあふれる会話や、時間を忘れて自分の意見を述べるなど、やればできる仲間が集まりました。

開会式後のパネルディスカッションでは、ファシリテーター役のローバースカウト 3 名が推進役となり「平和」について討議をしてくださいました。

吉川亮介 RS 「徴兵制について」

徴兵制って何だろう？

世界各国で実施されている徴兵制について

10 月に行われた韓国連盟主催の「未来派遣」に参加して、韓国のスカウトと徴兵制について話し合ったことなどを披露してもらいました。

松宮菊乃 RS 「家族と愛について」

国境なき医師団の活動を紹介しながら、紛争地域や戦闘地域で生活している子ども達を紹介。

戦争などで家族がバラバラになったり、両親が死亡してしまうような状況で家族の愛について話をしてくれました。



池田愛 RS 「子供の環境『エイズ孤児』」 エイズ「音のない戦争」による悲惨さについて

エイズで亡くなる人の数は戦争の死亡者の 10 倍になるとも言われており、この問題が引き起こしている数多くの困難は、戦争と匹敵する。

また、14 歳で親をエイズで失い、一家の長となったアフリカ南部の国「マラウィ」の女の子の話しを、ユニセフ事務局長の手紙から紹介してくれました。



グループワークでは、初めて会った仲間と共通認識を持つために、自分のアピールポイントや短所も全て打ち明け、グループ全員の意見をまず聞くことを基本ルールと位置づけて、討議に入りました。新聞の中から「平和」に関するキーワードを見つけたり、KJ法を用いて議論を行うことで、以下のような意見の集約を行いました。

戦争の悲劇が、自分達の身にも起こりえる可能性があり、防ぐことはできないのか？

文化や習慣の違いによって、お互いが理解し合えなかったから戦争が起きたのではないのか？

社会問題は 暴力などの犯罪があると悲しむ人がいるのではないのか？

生活環境は 食料不足やストリートチルドレンなどの問題は放っておけないのではないのか？

これら問題点に対するアクションプランおよび、採択文をまとめました。

なお採択文とアクションプランについては、11月の理事会にて佐野理事長宛て報告されました。



「壊れたテープレコーダー」班

採択文

国民一人ひとりがしっかりと意見を持ち、国家間の問題解決のために戦争という手段を選ばないような国をつくるため、積極的に政治に関心を持つ。
一人の意見でも、世界の平和は得られることを知る。

アクションプラン

日連（あるいは県連）で、カントリー大作戦のような共通の日を決めて平和についての活動をする。
例)ピラやパンフレット等を配布や演説等
ホームページを作る ポーイスカウト以外への情報発信

「トーマスFC」班

採択文

固定概念を捨てて、お互いの思いやり理解しあい、差別のない健康な社会をつくろう！

アクションプラン

交流会 異文化（違う国の人、違う県の人など）でのスポーツや音楽会などの実施
・国際合コン ・スポーツ交流会 ・語学研修 ・文通
・合同サイクリング ・合同キャンプ ・音楽会 ・オーバーナイトハイク

「黒酢 にんにく卵黄 ￥1200」班

採択文

笑える時、遊んでいる時、自分の好きなことをしている時、共有しあえる物がある時、身も心も健康である時、大切な人という時、平和な時、戦争・社会問題・生活環境、みんなの笑顔が解決へのかけはしになる。

アクションプラン

平和についてのポイントラリー（地域に向けて）

「はとポッポ」班

採択文

平和のために
 ・家族を愛すること
 ・友を愛すること
 ・他人を愛すること
 ・助け愛うこと
 自分を取り巻くすべてを愛する！

アクションプラン

他団交流を活発化させ、海外派遣を通じて色々な人と触れ合う。
自分の考えを発表できるフォーラムの企画を作る。



行事報告

団運営研究集会開催

テーマ「団担当コミッショナー」について

今年度で16回目となる県連団運営研修会が平成16年11月23日に「横浜農協共同組合 みなみ総合センター」にて開催され、県下各団および地区・県連役員が参加されました。

日本連盟教育規定の改定に伴い神奈川連盟においても平成16年7月より「団担当コミッショナー」が設置されました。団を支援する任務を持った団専任のコミッショナーを置くことで、本運動の中心的存在である団の運営と隊活動の質の向上と充実を図ろうとするものであり、今回この「団担当コミッショナー制度」の趣旨を理解する目的で開催されました。

中川県コミッショナーより「団担当コミッショナーの導入と+5、-0への活用策について」の基調講演のあと、「団担当コミッショナーに期待すること」をテーマにグループ討議がなされました。



「キットポート」奉仕

平成16年9月19日に横浜市根岸森林公園にて高島屋主催の「キットポート」への奉仕が行われました。県下各地区より楽しい体験ゲームや五感を使うゲームなどを展開し、参加された34家族80名は楽しい1日を過ごしました。



関東大学アメリカンフットボールの開会式にボーイスカウトが奉仕 維持財団より

関東大学アメリカンフットボール連盟（理事長：中澤靖武）より依頼があり、平成16年11月14日横浜スタジアムで開催された2004年度秋季リーグ開会式セレモニーにボーイスカウトが奉仕しました。当日は中央大学 VS 関東学院大学、専修大学 VS 東海大学、早稲田大学 VS 法政大学の試合が行われました。



「スカウトの日」活動報告

全国一斉に展開された今年の「スカウトの日」における缶トリー大作戦活動では、アルミニウム缶3,886個、スチール缶4,461個、ペットボトル2,991

個がみなさんの努力により回収されました。また、缶トリー大作戦の他にも「環境を大切にするプログラム」や「敬老の日に沿った活動」「一般招待プログラム」なども展開した団もありました。

第7回 日韓スカウトフォーラム

テーマ「よりよき理解、明るい社会」

アドバイザー 高森 茂範

世の中が韓国ブームになった原因はここから始まったのです。1999年に小淵首相と金大統領の両首脳が調印を行い、青年たちがフォーラムや野外体験を通じて深く理解し合い、友情を育むみ将来の友好関係を築くプログラムがスタートしました。韓国では「小淵プロジェクト」と呼ばれています。

今年度の日韓スカウトフォーラムは1月8日～10日まで、両国のスカウト200名（ボーイスカウト、ベンチャスカウト）とファシリテーター役のローバースカウト20名、アドバイザー10名で運営を行い成田のマロードインターナショナルホテルで開催されました。

基調講演はキムキューヨン氏（元APR事務局長）から「日本と韓国の関係とスカウトの役割」についてお話がありました。最初は緊張していたスカウト達もアイスブレイクやグループワークを行ううちに徐々に心を開き、次第に話し合いもスムーズに進みました。グループには同時通訳者がついて、ゆっくりですが話の内容を理解できるようになり、お互いの環境の違いや、学校での悩み、スカウティングの話など、かなり深い話も出来るようになりました。グループのファシリテーター役のローバースカウトがグループを支援してくれ、フォーラムのテーマ「よりよき理解・明るい世界」について3日間の話し合いで次の採択事項を承認し、柳沢実行委員長と韓国派遣団長へ採択文を報告することができました。

- 1 日韓共通の Web サイトを作る
- 2 環境を守っていくために植樹運動を世界に広める
- 3 今後も積極的に日本と韓国の交流を深め、差別や偏見を無くしてゆく。その考えを世界に広める。
- 4 子ども達が本当に必要な教育を受けられるように働きかけよう。
- 5 環境問題に対する関心を高めて、積極的に情報を世界へ発信しよう。
- 6 スカウト活動で募金を積極的に行う。
- 7 勇気を出して自分より弱い立場の人に積極的に手を差しのべよう。

今後はフォーラム採択文が両国の各地域でスカウト自身によって実行されることを願っています。また、参加したスカウトがここで得た体験を、自分の地域にいる全てのスカウトに伝えることを望みます。



ウッドバッジ実修所奮闘記

秦野第2団 ボーイスカウト隊 副長 米澤 亨一

「スカウティングはスカウトにとっては Game であるが、指導者にとっては Job である。」指導者の研修みなそうであるが、実修所は特にそのことを思い知らされた。期間中私の抱いていた問題点全てについてヒントが得られたわけではなく、得られたヒントについても中・長期的な継続が必要なものばかりである。しかし、得られたヒントから一歩一歩確実・着実に指導方法の改善に臨んでいきたい所存であります。



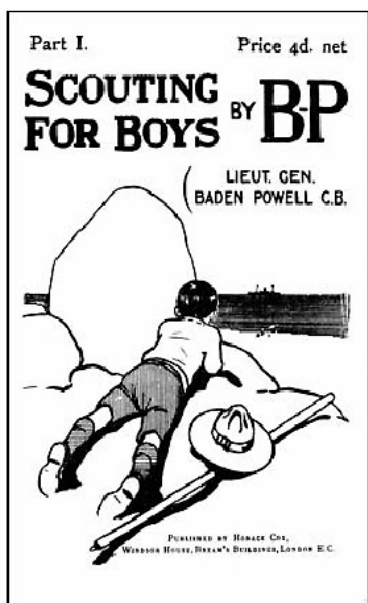


ヤーン yarn のことを、辞書では「ほら話」などと訳されていますが、語る人が相手の気を引くように話し伝える「おはなし」のことです。

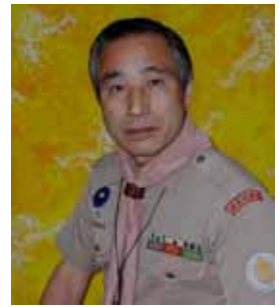
あのシンドバッドやアリババの話で知られる「アラビアンナイト：千夜一夜物語」もヤーンですが、日本でも大昔から昭和の時代まで、夜なべのいろりを囲みながら子や孫たちに聞かせたおばあちゃんの昔話やおとぎ話も「やわ夜話」といわれるヤーンです。

しかし、スカウト運動では、1908年に創始者ベィデン・ポウエル卿〔B-P卿〕が自国イギリスの少年たちに与えたテキスト「スカウティング フォア ボイズ Scouting for Boys」がヤーンの形式で書かれたように、それはほら話ではありません。それを開けば、「わんぱくハンドブック」として少年たちの心と身体を沸かせ、世界中のスカウトとリーダーに「本当のスカウト運動はこうするんだ」とB-P卿が語りかけ、やがて100年になる今でもこの運動の品格と正しい方角を示す羅針盤〔コンパス〕となっていることがわかるはずです。

さて、その「スカウティング フォア ボイズ」ですが、初めはいまのような厚い1冊の本ではありませんでした。1908年1月15日に発行されたときは、わずか72ページの第1編で、その後6編に分かれて発行されています。第1編は、制服姿の少年が岩かげから沖の船を見守っている表紙で、新聞は「これはユキダルマのように大きくなる運動」と伝え「新しい青少年運動を世界に呼びかた本」としてたちまちベストセラーになりました。



語り 矢島 巖
[神奈川連盟名誉会議員]



しかし、この本が評判になったのは、マフェキングの戦いに勝った英雄ベィデン・ポウエル将軍が書いた本だからというよりも、この本に載せた冒険や観察ゲームや班のチームワークが、前の年にドーバー海峡に浮かぶ小さなブラウンシー島へ21人の少年を招き、実際にしたことだったので、やる気さえあればだれにもできるという内容の素晴らしさにあったからです。そしてそれは、母の手一つで育った腕白者のB-Pが兄たちとしてきたツーリングや、軍人として国のために命をかけ厳しい訓練もゲームに仕立てて上達させる独創的な方法から編み出したものでした。

そのうえ絵が得意だったB-Pが、表紙もイラストも自分で描いてスカウト活動の楽しさをひと目で伝えたことも素晴らしいことでした。

日本語に訳された「スカウティング フォア ボイズ」は、大正8年(1925年)に少年團日本聯盟が発行した「少年団教範」ですが、明治44年(1911年)に横浜で外国人のスカウト隊ができた数年後には各地各地に日本の隊ができたので、この本の前にもいろいろな訳本が出ていたようです。

時代は変わっても、少年が仲間と組んで冒険遊びをしたいのは同じです。遊び方は変わっても、ルールを守りながら何かにチャレンジし成功の

感激に至る方法を、スカウトや指導者はもちろん保護者も共にこの本から引き出し、ボーイスカウト運動の極意をつかんでほしいものです。



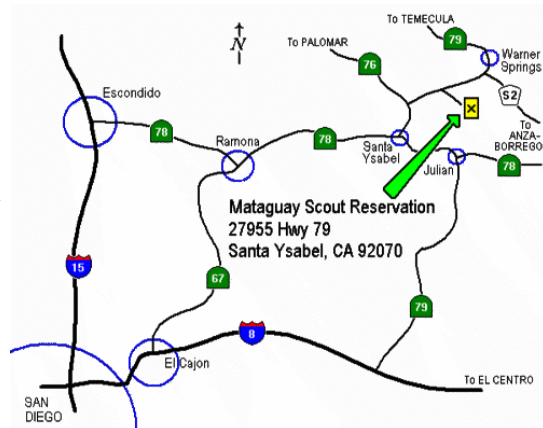
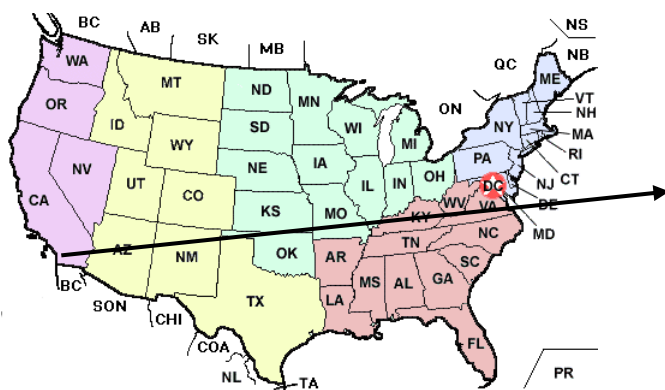
平成17年度スカウト海外派遣募集

神奈川連盟では、毎年海外派遣事業を展開しているが、このたびボーイスカウト部門向け（上級班長としてベンチャースカウトも可）の海外派遣について募集が始まりました。6泊7日間アメリカのキャンプ場で固定キャンプを主体に、英語での生活やスカウト技能のスキルアップを目標にチャレンジしてほしい。

1. 目的：本派遣事業は、将来の国際化社会で活躍する人物の育成を念頭におき、スカウト諸君がこれまで培ったスカウティングを基に海外派遣という新たな体験に挑戦し、自己研鑽を深める機会を提供することを目的としている。上級班長においては、全期間を通じて派遣隊スカウトをまとめるとともに、キャンプ場においてはプログラムの運用についてキャンプ場スタッフと交渉にあたる責を担い、またとない体験が得られる機会である。また、指導者においては、今後の県連スカウト運動の国際化を推進するための一翼を担っていただくことをねらいとしている。

2. 派遣先：アメリカ合衆国カリフォルニア州 サンタイサベル マタグアイ・スカウトキャンプ場

ロサンゼルスより車で3時間のリバーサイド地方に近い標高 1000m の山岳地に位置し、広さ約 300 万平米（サッカーグラウンド約 760 個に相当）のキャンプ場内に 26 のテントサイトがある。キャンプ場内にはプール、人造湖も備えている。 URL: <http://www.bsadpc.org/camping/content/mrs1.asp>



3. 派遣期間：平成 17 年 8 月 6 日（土）～8 月 17 日（水）の 12 日間（予定）

4. プログラム：マタグアイでのキャンプは 6 泊 7 日の固定式、給食制。スキルアワード（アメリカの技能章）取得のため、アーチェリー、アスレチック、カヌー、水泳、自然観察、パイオニアリングなど 50 種類以上用意されているプログラムに挑戦する。会話・解説は全て英語であり、常時西海岸エリアのスカウト 300 人～600 人がキャンプをしている。この中では毎日が国際交流である。また、キャンプ場以外にもアメリカ社会を見学する機会を設ける予定。

5. 経費：1 人 ¥290,000 円程度

6. 参加人数：

- ・スカウト 20 名、上級班長 1 名、指導者 3 名を基準とする。
- ・参加スカウトが 10 名以下の場合には実施を再検討する場合もある。

<スカウト>

- ・ボーイ隊スカウトで応募時点において 2 級以上であること。
- ・派遣実施時に中学 2 年生以上であること。他

<上級班長>

- ・ベンチャー隊スカウトであって事前訓練終了時にベンチャー章を取得していること。
- ・キャンプ場スタッフとの情報の授受が可能な程度の英会話力を有すること。他

<指導者>

- ・応募時点でボーイ隊・ベンチャー隊の指導者又はこれに準ずる者であること。他

7. 応募申請方法：スカウト / 上級班長 / 指導者は別添の海外派遣応募申請書、健康調査表に必要事項を記入し、平成 17 年 3 月 26 日（土）までにボーイスカウト神奈川連盟事務局気付 海外派遣実行委員会宛てに提出。以降面接選考あり。

<<興味があれば、すぐに君のリーダーに聞いてみよう!!>>

維持財団より

維持財団事務局（火・水・木・金 10:00～16:00）

電話 045-365-3422 FAX045-391-3422

平成 16 年度賛助会員 会費納入者(団)

平成 16 年 4 月 1 日より平成 16 年 12 月 30 日現在

「ボーイスカウト神奈川連盟のスカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です！
ご支援ありがとうございます。（順不同 敬称略）

- 5 口 (株)寿食品 シー・エス・エイチ(有) 鎌倉高德院 (株)アオキ・インターナショナル (株)神奈川新聞社
(株)横浜高島屋 上野トランステック(株) 横浜ロータリークラブ 吉田興産(株) 木村勇
- 3 口 奥津勉事務所 (株)テレビ神奈川 (株)横浜銀行 (株)光電社 (株)京急百貨店 相川行雄
- 2 口 相模原中ロータリークラブ 厚木ヤクルト販売(株) (株)ヨコハマフーズ (株)たしる薬品 (株)柴橋商会 三菱地所(株)
(株)岩本不動産商会 日興テクノス(株) 横浜エレベータ(株) 守谷不動産(株) 横浜信用金庫 (株)スリーオークス
(株)さいか屋川崎店 (株)田邊 横浜港北ロータリークラブ 横浜保土ヶ谷ロータリークラブ
横浜本郷ロータリークラブ 川崎南ロータリークラブ 堀田利則 鈴木恒夫 田中慶秋 村瀬恵一
- 1 口 野並豊 高島忠男 黒岩信夫 後藤一郎 石井文吉 小島清 間野昭一 若女井利治
仲戸川勲 菊地國和 浅見清 沓掛頼庸 伊奈忍 今井田津子 大村貞雄 三木信男
川崎清剛 万年佐吉 富永恵美子 高地光雄 久保田雅彦 山下精章 宮川一男 美津口龜夫
山本和俊 永田鐵二 原秀夫 相川文五郎 中澤靖武 高橋幸夫 西村哲夫 須田正充
青柳嘉八 本多正八 田口博昭 紺野隆 矢部房男 小泉偉美 武井正光 園田國治
山田みよの 渡辺宗男 佐藤七津美 島映子 粉川邦男 中村俊雄 足利靖之 三木繁次
岩瀬榮 鈴木晴美 荒木宏之 奥山七郎 雲居時行 武井靖典 小山芳男 竹宮帝次
丸山秀親 小川登美男 相川登美子 新田俊雄 長田均彦 佐藤雅一郎
- 川崎 5 5 団（長瀬政義） 川崎 4 3 団（小山新生） 横浜 1 0 団（鈴木市蔵） 横浜 6 5 団（岡竹直）
横浜 2 7 団（渡部巖） 横浜 7 1 団（谷川克一） 横浜 8 8 団（飯田勉） 横浜 1 3 0 団（田中隆久）
横浜 1 1 4 団（長島明彦） 横浜 9 5 団（作田豊彦） 横浜 4 9 団（辻忠） 横浜 8 1 団（阿部忠義）
横浜 1 3 1 団（鈴木学秀） 横浜 9 9 団（井上延義） 横浜 8 3 団（坂理喬） 藤沢 1 2 団（徳田憲昭）
葉山 3 団（中村光生） 厚木 7 団（高橋一夫） 鎌倉 3 団（吉村公） 寒川 2 団（利根康夫）
相模原 1 0 団（池田真一） 大和 3 団（土田謙一） 秦野 1 団（佐野友保）
- 横須賀みかさライオンズクラブ 横須賀ライオンズクラブ 相模原ライオンズクラブ 横須賀ロータリークラブ
相模原ロータリークラブ 相模原南ロータリークラブ 川崎大師ロータリークラブ (株)笹田組 (株)むらせ
三丸興業(株) (有)ケイエス商事 大岩産業(株) 相模鉄道(株) 朝日倉庫(株) 川崎大師平間寺 (株)星 日本産業(株)
(株)一品香 箱根温泉供給(株) 高梨乳業(株) 上野興産(株) 京浜警備保障(株) 川本工業(株) (株)産業貿易センター
(株)損害保険ジャパン (株)ヨコベン (株)ワイキャブ (株)有隣堂 清水建設(株)横浜支店 (有)フォーシーズン
大成建設(株)横浜支店 (株)ザ ヨコハマ ノホテル 田辺商事(株) セコタックジャパン(有) 横浜丸中青果(株)
富士倉庫(株) オサラギ商事(株) (株)寺田事務所 (株)アート宝飾 (株)横浜スタジアム 鳥山整形外科医院 原地所(株)
清水平安薬局 (株)松尾工務店 ハピタックス(株) ワシン坂病院 神奈川トヨタ自動車(株) (株)日生設備 (株)江戸清
ワイ・ケイ・ハウジング(株) (株)横浜松坂屋 (株)CHARMYTANAKA 湘南信用金庫 日総ビルディング(株)
佐藤誠事務所 (株)添田土地 (株)三木組

平成 16 年度維持会員 会費納入団

平成 16 年 4 月 1 日より平成 16 年 12 月 30 日現在

「ボーイスカウト神奈川連盟のスカウト運動を財政面からご支援いただいている各団です」
ご支援ありがとうございます。

- 川崎 39, 43, 46, 55 団
横浜 10, 49, 57, 58, 69, 73, 75, 77, 95, 97, 120, 125, 130 団
横浜 27, 30, 65, 81, 105, 106, 110, 131 団
横浜 31, 71, 88, 96, 99, 115, 123 団
横浜 24, 63, 68, 72, 74, 94, 101, 114, 118 団
横須賀 4, 11, 12, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 三浦 3, 5 団
葉山 1, 3, 逗子 1, 鎌倉 2, 3, 藤沢 1, 2, 3, 7, 12, 17 団
茅ヶ崎 1, 寒川 1, 2, 平塚 3, 4, 5, 6, 8, 9, 平塚 10, 12, 大磯 1 団
綾瀬 2, 海老名 3, 相模原 5, 8, 10, 11, 座間 3, 津久井 2, 大和 1, 2, 3, 5, 厚木 7, 伊勢原 1, 2 団
秦野 1, 4 団, 小田原 6, 10, 14, 南足柄 1, 箱根 4 団

平成 17 年度 県連年次総会のご案内

平成 17 年 4 月 24 日(日) 13:00～18:30

学校法人麻布獣医学園 麻布大学 最寄り駅 JR 横浜線・矢部駅北口から徒歩 4 分

〔発行〕2005 年 2 月 28 日 〔発行人〕日本ボーイスカウト神奈川連盟 佐野 友保

〔編集人〕神奈川連盟 総務委員会広報担当 坂本 健 〔印刷所〕(有)コサカ印刷 藤沢市善行 3-6-11

〔事務局〕〒241-0815 横浜市旭区中尾町 2-1-14 スカウト会館 045-365-3421 Fax045-391-3422